



日本聖公会東日本教区 聖アンデレ教会

管理主教 フランシス 長谷川清純 牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

聖霊降臨後第 19 主日(緑) 2026 年 10 月 4 日

礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式

(午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式・説教：司祭 卓志雄

聖歌 49 507 397

† 午前 9 時 15 分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：司祭 卓志雄

聖歌 49 507 397

† 午前 10 時 30 分 聖餐式

(午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌 49

参入

1 頁(162 頁)

清めの祈り

1 頁(162 頁)

キリエ

3 頁(163 頁)

大栄光の歌

4 頁(164 頁)

特祷 (特定 22)

み言葉

第一朗読 イザヤ書

5 章 1-7 節

詩編

第 80 編 7-15 節

第二朗読 フィリピの信徒への手紙

3 章 4b-14 節

福音書前聖歌 536

福音書 マタイによる福音書 21 章 33-46 節

説教：司祭 卓志雄

ニケヤ信経

9 頁(166 頁)

代祷 (週報 2 面)

12 頁(168 頁)

懺悔

13 頁(170 頁)

聖餐

平和の挨拶

15 頁(171 頁)

奉献聖歌 507

奉献

感謝聖別 (I)

16 頁(172 頁)

陪餐

24 頁(180 頁)

陪餐聖歌 464

感謝

28 頁(182 頁)

祝福

28 頁(183 頁)

派遣

退堂聖歌 397

† 午後 5 時 夕の礼拝

司式：司祭 卓志雄

詩 145 王下 20 I コリ 2:6-16

聖歌 535

I 分典礼 (礼拝 Q&A) ⑤①

【昔、世界史の授業で、プロテスタント教会では像をつくることが禁止されていると習った記憶があります。聖公会では、キリストや聖人などの像をつくることは問題ないのでしょうか？】

旧約聖書の十戒には「刻んだ像を造ってはならない」という戒めがありますが、その中心は、像を神として礼拝する「偶像礼拝」の禁止にあります。聖公会では、像を作ることで自体を偶像礼拝とは考えていません。像そのものに神聖な力があるとして礼拝することは認められませんが、キリストや聖人を覚え、神様へ心を向けるための「しるし」として、像やイコン、ステンドグラスなどを用いることがあります。ただし、聖公会の中でも考え方には幅があり、アングロ・カトリックの伝統では聖像を積極的に用いる一方、福音主義的な教会ではほとんど用いない場合もあります。また、プロテスタント教会でも、ルター派や改革派などによって聖像に対する考え方は異なります。したがって、「プロテスタント＝像は禁止、カトリック＝像は認める」と単純に分けることはできません。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう
※（ ）内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会

(ステパノ 卓志雄司祭、トマス日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東日本教区

(管理主教 フランシス 長谷川清純主教)]

真光教会、信仰と生活委員会、

教区中高生世代会、教区青年会、

青少年活動支援プロジェクト、

教育プロジェクト、小笠原プロジェクト

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・東日本教区)]

川越基督教会 創立記念日 10 月の第 1 主日

(1878 年)

[日本聖公会

(首座主教 アシジのフランシス 西原廉太主教)]

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

ナブルス

聖ルカ病院

[全世界の聖公会]

ブラジル聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

キリスト友会日本年会

東京聖書集会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの管理主教

フランシス

を導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ日々主の栄光をこの世に現す者とならせて

てください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに、

ウクライナや中東、またイランに対するアメリカとイスラエルの攻撃によって混乱のただなかにある地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びとに知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカウト東京港第 14 団、ガールスカウト東京都第 138 団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人びと、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、10 月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体

ことに、野宿者生活支援(浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、ささしま共生会、聖公会野宿者支援活動渋谷)、

小笠原諸島における宣教拠点(小笠原聖ジョージ教会)、

教役者緊急援助資金(教区教役者緊急援助資金)、

社会事業の日(総会決議)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病氣の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界および日本各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びとを顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え

主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

＜逝去者のため＞

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください
一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

「バザーと教会（2025 年 1 分典礼記載）」

教会のバザーは、単なる募金やイベントではなく、教会の本質的な使命である「ディアコニア（奉仕）」の具体的なあらわれです。ディアコニアは初代教会の時代から大切にされてきた働きであり、貧しい人、病める人、孤独な人のそばに寄り添う愛の行為を意味します。教会は礼拝を通して神を礼拝し、宣教を通して神のみ言葉を伝え、そして奉仕を通して神の愛をかたちにしてきました。その三つの柱の一つがディアコニアなのです。バザーにおける皆さんの働きも、この歴史の中にしっかりと位置づけられています。準備に汗を流し、互いに協力し、来場する人々と心を交わすそのすべての営みが、神の愛の証しです。バザーを通して集められる収益はもちろんのこと、何よりも大切なのは、奉仕の中で生まれる温かなつながりと、喜びを分かち合う心です。皆さんのひとつひとつの働きが、神の国の広がりの一部となっています。どうかこの奉仕を誇りに思い、感謝と祈りをもって喜びのうちに 10 月 18 日のアンデレチャリティバザーを楽しみましょう。

◇ 聖アンデレ教会オリジナル T シャツを 1 枚 ¥2,500 で販売しています。

◇ 聖アンデレ教会広報の YouTube チャンネル「今、福音に聴く」では、卓志雄司祭によるマタイ福音書の最終回を配信しています。次回、ヨハネ福音書まで、どうぞ今しばらくお待ちください
ご視聴は

<https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0>

又は下の QR コードからお願いいたします。



広報チャンネル



Instagram



ホームページ



Facebook

＜お知らせ＞

◇ 10 月 18 日は、「2026 アンデレチャリティバザー」です。礼拝開始時間が変わります。ご注意ください！（朝食の準備はありません）

・こどもとともにささげる礼拝：午前 9 時

・主日聖餐式：午前 7 時半 / 午前 10 時

本日礼拝後の、バザーの献品仕分け・値付け作業にも皆さまのご協力をお願いいたします。

◇ 2027 年の聖公会手帳・カレンダーの購入をご希望の方は、所定の封筒に必要事項をご記入の上、お釣りのないように代金を入れて、受付の申込箱にお入れください。

締め切り：11 月 8 日（日）厳守

なお、2027 年につきましては「教会暦日課表」の冊子は発行されません。

◇ 聖書朗読（旧約聖書・使徒書）を分担しませんか
み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。受洗・堅信記念日・誕生日・結婚記念日・ご家族の逝去記念日などを迎える主日にぜひご奉仕ください。ご希望の方は聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。

◇ 聖餐式聖書日課表（9 月～11 月）が、礼拝堂受付においてあります。お要りの方はどうぞおもちください。

◇ 【聖書を学ぶ会】毎月第 1 水曜日 13:30～開催しています。今回は 10 月 7 日（水）です。現在、土井かおる著『よくわかるキリスト教』（PHP 研究所、2004 年）をテキストとして用い、聖書、キリスト教の歴史、教理、ならびに現代における課題について学びを深めています。多くの方の参加を歓迎しこの学びの時間が、より豊かなものとされることを願っています。

「聖公会モンゴルの森」プロジェクト ご協力をお願い

日本聖公会は、大韓聖公会と共に、砂漠化が進むモンゴルの大地に木を植える「聖公会モンゴルの森」プロジェクトに参加しています。豊かな自然を次の世代へ受け継ぐため、1 ヘクタール、約 1,000 本の植林を目標に協力しています。被造物を守ることも宣教の大切な働きです。この取り組みは、神・人・自然との和解を目指す宣教の実践であり、日本聖公会と大韓聖公会が共に歩む日韓協働の働きでもあります。

礼拝堂入口の掲示板に、写真とご案内を掲示していますので、ぜひご覧ください。植林の目安は 1 本約 3,000 円です。金額にかかわらず、自由献金としてご協力ください。皆さまのお祈りとご支援が、モンゴルの大地に新しいいのちを育み、未来への希望をつないでいきます。

本日・今週の予定

10月4日(日) 聖霊降臨後第19主日(特定22)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

・愛餐会 ・愛餐会後 バザー献品仕分け・値付け作業

5日(月) 7時半礼拝

ガラ 1:6-12 詩 111:1-6 ルカ 10:25-37

6日(火) 7時半礼拝

ガラ 1:13-24 詩 139:1-10 ルカ 10:38-42

7日(水) ガラ 2:1-2, 7-14 詩 117 ルカ 11:1-4

・10時半 聖アンデレ教会 10月逝去者記念聖餐式
聖歌: 248, 363, 554
・13時半 聖書を学ぶ会

8日(木) 7時半礼拝

ガラ 3:1-5 ザカリヤの賛歌 ルカ 11:5-13

9日(金) 7時半礼拝

ガラ 3:7-14 詩 111:4-10 ルカ 11:15-26

10日(土) 7時半礼拝

ガラ 3:22-29 詩 105:1-7 ルカ 11:27-28

・14時 洗礼の学び

11日(日) 聖霊降臨後第20主日(特定23)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式

イザ 25:1-9 詩 23 フィリ 4:1-9

マタ:22:1-14 聖歌 5, 563, 479, 271, 399

17時 夕の礼拝 聖歌 124

詩 111, 112, 113 エレ 36:1-10 I コリ 4:9-16

・愛餐会
・愛餐会後 バザー献品仕分け・値付け作業

【注意】教会内施設、和室など、電気やエアコンの消し忘れ、鍵の閉め忘れがたびたび見受けられます。
使用された方は、必ず最後の確認をお願いいたします。

今週のメッセージ

今日の福音書で、イエス様は「ぶどう園と農夫」のたとえを語られます。主人は収穫の時、僕たちを農夫のもとへ送りますが、農夫たちは彼らを捕らえ、打ち、殺してしまいます。最後に主人は、「わたしの息子なら敬ってくれるだろう」と、愛する息子を送ります。しかし、その息子までも殺されてしまいました。

このたとえは、十字架へと向かわれるイエス様ご自身の姿を示しています。人々によって拒まれ、十字架につけられるイエス様。しかし、それで終わるのではありません。神様はイエス様を復活させ、救いの道を開いてくださいました。

そこでイエス様は、詩編 118 編のみ言葉を引用されます。「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。」

家を建てる時、使いにくいと判断された石は脇へよけられます。「この石は使えない」「これは要らない」と捨てられた石です。ところが、その石が建物を支える大切な「隅の親石」になったということです。

人々はイエス様を拒みました。しかし、人間が捨てたその方を、神様は救いの礎とされました。人間の目には「終わり」に見えた十字架から、神様は復活の命を始められたのです。

このみ言葉は、私たち自身にも問いかけています。私たちはいつの間にか、人を「できる」「できない」で判断してしまうことがあります。仕事ができる、勉強ができる、役に立つ。そういう人は評価されます。反対に、何かができなくなると、自分自身でさえ「自分には価値がない」と思うことがあります。

しかし、神様の目は違います。人間が「要らない」と判断した石を、神様は最も大切な場所に置かれました。だから、もし「自分はもう役に立たない」「昔のようにできなくなった」と感じる時があっても、覚えていたいと思います。

神様は、私たちを「できる・できない」で見えておられません。私たちの人生の礎には、人々から捨てられながら、神様によって隅の親石とされたイエス・キリストがおられます。

その神様の目には、誰一人、要らない人はいません。そのことを信じ、私たちも神様がご覧になる目で、互いを大切に歩いていきたいと思っています。

(司祭 卓志雄)